

石破農林水産大臣等が西条市を視察

各界が注目する「水素いちごプラント」



▲市長から水素いちごプラントの説明を受けられる石破大臣。大臣にはプラント視察の記念として、イチゴの苗の定植を行っていただきました。

石破茂農林水産大臣、サントローホルディングス(株)の田中隆治技術監、中国四国農政局の勝山達郎局長が西条市を視察に訪れました。市内の農業施設などを視察された各氏には、農商工連携による地域活性化事例として「水素いちごプラント」も視察していただき、市の取り組みを紹介しました。

■5月24日(日)・石破大臣来西

プラントを視察された石破大臣は工場の排熱で冷水を製造し、イチゴの高付加価値生産を研究していることに大きな関心を持たれました。

特に、冷水が流れている培地と流れていない培地の温度差が7度あることや、冷水が流れているパイプの冷たさに驚かれました。

■6月2日(火)・田中技術監来西

田中技術監は世界で初めて「青いバラ」の開発に成功されるなど、日本を

代表するバイオ技術者です。

田中技術監は太くなったイチゴの株を例に「夏季の培地温度管理が適切に行われていた結果と推測される」と評価され、「高温障害を回避する技術として、ほかの作物にも応用できる可能性が高い」と、今後の試験・研究に期待されています。

■6月3日(水)・勝山局長来西

勝山局長は食品加工流通コンビナート構想に興味を示され、「全国初の周年温度管理型栽培施設をはじめとした食糧生産技術総合研究施設へ発展し、地域の活性化に資するよう応援いたします」とのエールをくださいました。

水素いちごプラントとは？

MH(水素吸蔵合金)冷凍システムを活用し、夏場でも冬場の作物が収穫可能なシステムの構築をめざす試験・研究プラントです。この研究は内閣府から地域再生計画の認定を受けて取り組む「食品加工流通コンビナート構想」の一環として実施しており、東海大学、大阪府立大学、愛媛大学、LLPトライアウトえひめ、(株)谷口金属熱処理工業所、サイクスなど多くの関係機関の支援を受けています。

昨年にアイランドで開催された国際水素エネルギー会議では、この試験・研究を発表し、世界各国の研究者から高い評価を得ました。

今年度からは経済産業省所管事業として、新たなMH冷水製造システムを活用し、1,000㎡の水素いちごプラントと陸上養殖プラントを(株)クラレ西条事業所の敷地に整備する予定です。

周桑農業協同組合との災害応援協定を締結

災害時における救援物資等の提供協力に関する協定



▲調印後、握手を交わす豊田明夫代表理事組合長(右)と伊藤市長

周桑農業協同組合と西条市の間で「災害時における救援物資等の提供協力に関する協定」を締結することとなり、5月25日(月)に市庁舎で調印式が執り行われました。

この協定は、先般西条市農業協同組合と締結した協定と同じく、地震や風水害などの災害時に、被災した市民の方々へ米穀、副食品、水、日用品など救援物資の提供、避難所等としての施設の開放、多くの死者が出た場合の葬祭用品の提供などをご協力いただくものです。

調印式では、周桑農業協同組合の豊田明夫代表理事組合長と伊藤市長がそれぞれ協定書に署名、押印し協定が締結されました。

市議会 5月臨時会

市議会5月(第5回)臨時会が25日に開会され、次の議案が上程・可決されました。

西条市職員の給与に関する条例

等の一部を改正する条例について
平成21年5月1日の人事院勧告に基づく政府決定を受け、西条市職員、西条市議会議員、西条市特別職職員、西条市教育委員会教育長に係る期末手当等を改正するため、所要の条例改正を行うもの。